



こと言の葉 kotonoha

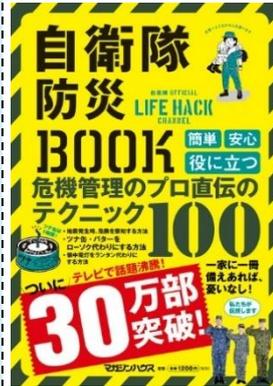
築館高等学校 図書館だより
発行：令和6年12月23日
文責：司書 佐藤

今年も残りわずかとなりました。みなさんにとって今年はどうな年だったのでしょうか。自分や世の中の出来事を振り返りつつ、来年はどうな年にしたいか考えてみてはいかがでしょうか。

2024年の出来事から関連図書を紹介します！

【石川・能登で震度7】

今年は年明けから大きな災害がおこってしまいました。その後、記録的な大雨なども重なり、ニュースを見て心を痛め、自分たちには何ができるのか、実際に行動した人もいます。知識があることで命が助かったり、助けたりすることができるかもしれません。危機管理のプロ直伝のテクニックの載っている本を紹介します。高齢者との避難やいざという時の料理、持ち出し袋の中身など、役立つ情報が満載！



「自衛隊防災BOOK」

マガジンハウス 2018年刊
地震 台風 豪雨に役立つ！
危機管理のプロ直伝のテクニック 100



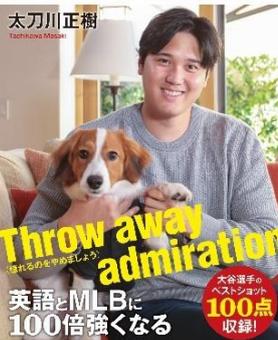
【箱根駅伝 青山学院大優勝！】

最近では自分の息子が走っていたら・・・と親視線でテレビを見つめ、涙を流し、家族に笑われています。今となっては有名な青山学院大の原監督ですが、無名だった監督からどうやって毎年、箱根駅伝優勝候補になるまでに導いてきたのか。駅伝以外にも通じるノウハウが詰まった1冊を紹介します。

「フツの会社員だった僕が、青山学院大学を箱根駅伝優勝に導いた47の言葉」

原晋 著 アスコム 2015年刊

大谷英語



「大谷英語」

太刀川 正樹 著

飛鳥新社 2018年刊

大谷翔平の魅力を
読み解く「大谷参考書」
としてオススメ。

【大谷翔平 米大リーグ初 50-50】

毎日のように〇〇初、新記録、前人未到などの言葉と一緒にテレビに映り、あまりの記録の連続に、逆に本当に凄いのか混乱してしまうほどでした。私たちが想像できないほどの日々の努力で結果を出し、日頃の言動にも表れる人間性で大人気となったと思います。実況も興奮して叫んでいたりしましたよね。これを読んだら、実況が何と言っているか理解できるかもしれません。英語とMLBに100倍強くなる本です。

【20年ぶり 新紙幣発行】

みなさんのお財布の中はすべて、新紙幣になったでしょうか。それともまだ、どちらも混ざっている状況でしょうか。もちろん、新紙幣に描かれた人物はみなさん知っていると思います。では、今までお札に描かれた人物は知っていますか？なぜ、その人物が選ばれたのでしょうか。「お金」の意外な歴史、お札になった肖像たちの正体、真相、エピソードなどを知ることができる1冊です♪

「紙幣の日本史」

加来 耕三 著 KADOKAWA 2019年刊

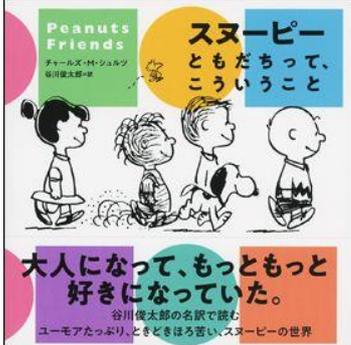
- ※ 新着図書は Classi でお知らせしています。教室に掲示している蔵書検索システムも活用してください。
- ※ 出来事は順不同です。また、掲載した表紙画像・画像については全て著作権許諾済です。



「世界でいちばん素敵な
夜空の教室」
多摩六都科学鑑天文チーム 監修
三オブックス 2015年 刊

【詩人・谷川俊太郎さん死去 92歳】
1931年生まれ、20歳に第1詩集「二十億光年の孤独」で鮮烈なデビュー。宇宙的なスケールを持つ新しい感性の詩人として注目を集めました。アニメ「鉄腕アトム」の主題歌やスヌーピーが人気の漫画「ピーナッツ」、絵本「スイミー」の翻訳なども手がけ、大人から子どもまで多くの人に親しまれました。築館高校図書館にもピーナッツや絵本、詩集もありますので、ぜひ、読んでみてください。

【日本の探査機】
日本の無人探査機として初めて月面着陸】
日本の無人探査機「SLIM」が、誤差が数キロメートル単位とされてきた月面着陸で、誤差100メートル以内を目指す世界初の「ピンポイント着陸」に成功。特殊なカメラを使って月面の岩石を撮影し、観測対象となった岩石は、相対的な大きさがイメージしやすいよう、「あきたいぬ」、「しばいぬ」、などと愛称がつけられているそうです。夜空を見上げる時には、星座などを見る人が多いですが、日本の技術力や世界で行っている宇宙への挑戦なども思い浮かべてみてはどうでしょうか。



「スヌーピーともだちって、こういうこと」
チャールズ・M・シュルツ 著 谷川 俊太郎 訳
朝日新聞出版 2018年 刊

【パリ オリンピック・パラリンピック開催】
ブレイキンなどの新種目の導入、オリンピック・パラリンピックで史上初めて同じエンブレムの使用、サステナブルな大会を目指しての環境保護に関する取り組み、また選手へのSNSでの誹謗中傷など、様々な視点から話題となりました。そして何と云っても、築館高校出身の鶴澤選手の出場は、200メートルを駆け抜ける姿に感動しました。学校に来校して、直接オリンピックの話聞いたことも貴重な時間となりました。今後も築館高校からオリンピックが誕生するかもしれませんね。そもそもオリンピック・パラリンピックとはどのようなものなのか、現在までどのような軌跡をたどってきたのか、この本をぜひ、読んでみてください。
「決定版 これがオリンピックだ オリンピズムがわかる100の真実」
舛本 直文 著 講談社 2018年 刊

2024年 ありがとうございました

今年も残りわずかとなりました。築館高校図書館を利用いただき、ありがとうございました。小説を読んで楽しい、哀しい、自分と同じ気持ちの登場人物がいる…などと感じたり、今までに知らなかった知識を得ることができたり、世界遺産や外国の都市をみて旅行気分を味わったり、未来の自分の職業を考えたり、図書館はみなさんの利用でどんな世界にも行ける場所です。来年も図書館でそれぞれの時間を過ごしてください。お待ちしております。2025年、みなさんにたくさんの良いことがありますように…

